

平成 25 年度 11 月補正予算の概要

京 都 市

1 補正予算のポイント

今回の補正予算は、台風第 18 号による被害に対し、9 月補正予算（追加提案）で実施した第一弾の緊急財政措置に引き続き、第二弾の措置として、国や関係者との協議等に一定の期間が必要であったもの、復旧作業を進めていく過程で更なる予算確保が必要となったものについて、復旧のための予算を計上するとともに、被害の大きかった**農林水産業の生産者等に対して、新たに本市独自の助成制度や負担軽減策を講じる**など、きめ細かな復旧支援を実施する。

また、今回の被害を受けて、課題となった防災情報発信のあり方を含めた水害対策全般の強化策についても、実施の準備が整ったものから取組を進め、スピード感を持って災害に強い安心・安全なまちづくりを推進していく。

更に、保育所待機児童ゼロに向けた保育所等の整備や国からの元気臨時交付金（第 2 次交付分）を活用した学校維持修繕など子育て支援・教育等の充実を図るほか、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受け、新観光振興計画を前倒しして策定するなど、現下の課題に迅速に対応していく。

(1) 台風第 18 号に係る災害復旧及び被災者支援

① 農林災害復旧及びきめ細かな経営支援

国や関係者等との協議等に一定の期間が必要であった農林災害復旧事業を本格的に実施するとともに大きな被害を受けた農林水産業の生産者等に対して、**本市独自の助成制度や負担軽減策**も含め、機械等設備の更新や病害防除などに要する経費を補助し、早期の経営再開や出荷額回復につながるよう、きめ細かな支援を実施する。

② 道路等の都市基盤の復旧

大雨等により損壊した道路、河川等を引き続き速やかに復旧していく。

③ 小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る補償

小栗栖排水機場が一時運転停止し、周辺に浸水被害が発生したことによる市民への補償金について、仮払も含め速やかに支払を行う。

(2) 台風第 18 号被害を踏まえ、スピード感を持って対応する水害対策の強化

今回の台風被害を受けて、災害情報の周知や浸水対策など防災対策上の課題が明らかになったことから、これらの対策として、防災情報発信機能の強化や排水機場における集中監視システムの構築、消防団・水防団水災対策器材整備、京北地域水道施設整備など、実施の準備が整ったものから、スピード感を持って水害対策の強化に取り組んでいく。

(3) 子育て支援・教育の充実等

国の有利な財源を活用し、待機児童ゼロに向け保育所等の整備を行うとともに、国からの元気臨時交付金（第 2 次交付分）を活用し、学校維持修繕を進めるなど、子育て支援・教育等の充実を図る。

(4) 新観光振興計画策定の前倒しその他

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に、外国人誘客をはじめとする新観光振興計画を予定より前倒しで策定するほか、先般決定された関西ワールドマスターズゲームズ 2021 の開催に向け、準備委員会の活動経費の一部を負担する。また、26年4月に予定されている京都府知事等選挙の準備事務及び期日前投票所の運営等を行う。

<補正事業の全体像>

(単位：千円)

項目	経費	主な内容
(1) 台風第18号に係る災害復旧及び被災者支援	2,511,000	
① 農林災害復旧及びきめ細かな経営支援	141,000	農林災害復旧, 農林水産業災害復旧支援
② 道路等の都市基盤の復旧	1,430,000	土木災害復旧, 道路・河川維持補修
③ 小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る補償	940,000	浸水被害に係る補償
(2) 台風第18号被害を踏まえ、スピード感を持って対応する水害対策の強化	223,000	排水機場における集中監視システムの構築, 防災情報発信機能の強化等
(3) 子育て支援・教育の充実等	838,000	民間保育所整備助成等, 学校維持修繕
(4) 新観光振興計画策定の前倒しその他	190,000	新観光振興計画策定の前倒し, 京都府知事等選挙費等
小 計	3,762,000	
(5) 一般財源の捻出	379,000	財政調整基金の取崩し
合 計	4,141,000	

2 補正予算の内容

(1) 台風第18号に係る災害復旧及び被災者支援 2,511,000千円

① 農林災害復旧及びきめ細かな経営支援 141,000千円

<一般会計 141,000千円>

(産業観光局)

農林災害復旧事業 123,000千円

台風による大雨等により被害を受けた、農地・農業用施設及び林業用施設の災害復旧等を行う。

また、復旧に係る市民負担は大きく、農林水産業に著しい影響を及ぼしているため、激甚災害指定による国庫補助率の嵩上げ措置などが講じられているが、それだけに留まらず、**本市独自の特例措置**として、公共性が高い施設等の復旧経費について、**財政支援(補助率嵩上げ)**を行い、市民負担を軽減する。

・農地・農業用施設災害復旧事業 67,000千円

農業用水路等の施設の応急対策に伴う経費を補助するとともに、農地及び農業用施設の災害復旧を行う。

農地：左京区静市地区、右京区京北地区、西京区大原野地区、

西京区桂地区、伏見区横大路地区など

農業用施設：左京区久多地区、左京区静市地区、山科区大宅地区、

右京区京北地区、西京区大原野地区など

- ・林業用施設災害復旧事業 56,000 千円

林道の復旧に伴う経費を補助するとともに、山腹及び市管理施設などの林業用施設の災害復旧を行う。

林道・山腹：左京区久多地区，山科区四宮地区，右京区京北地区など
市管理施設：山村都市交流の森（左京区花脊地区），
合併記念の森・市有林（右京区京北地区）など

農林水産業災害復旧支援事業 18,000千円

台風による大雨等により被害を受けた農林水産業者に対して，国や府の制度を活用し，機械や施設の更新，病害防除などに要する経費を補助する。

さらに，早期の経営再開や出荷額回復につながるよう，**本市独自の特例措置として，補助率の上乗せや助成制度の創設**など，きめ細かな支援により市民負担を軽減する。

- ・農林水産業者生産設備再建支援事業 7,400 千円

被災した農林水産業者の機械等設備の再建を支援する。

- ・農林水産業共同利用施設災害復旧事業 3,400 千円

倒壊等の被害を受けた共同利用施設（パイプハウス，鳥獣侵入防止柵）の復旧を支援する。

- ・農作物生産確保緊急対策事業 7,200 千円

農地の冠水等により被害を受けた農作物について，病害防除や種苗の播き直しなど，今後の生産確保につながる支援を実施する。

② 道路等の都市基盤の復旧 1,430,000千円

<一般会計 1,424,000千円>

（建設局）

土木災害復旧事業 1,200,000千円

線越明許費（1,250,000千円）

台風により損壊した道路・河川，排水機場の復旧工事等を行う。

- ・道路：国道 367 号，府道醍醐大津線，府道上黒田貴船線，市道梅ヶ畑 19 号線，市道牛尾道など
- ・河川：東又川，水尾川，七谷川，日野川，陀羅谷川など
- ・排水機場：三栖排水機場，今富橋排水機場

道路維持補修費 159,000千円

浸水被害発生箇所における舗装復旧，土砂撤去等に伴い不足する経費を補正する。

府道下鴨大津線，府道日吉美山線，市道大原 17 号線，市道大向線，市道山合線など

河川維持補修費 65,000千円

台風による河川に流出した土砂撤去，護岸改修等に伴い不足する経費を補正する。

杉坂川，清滝川，天神川，菩提川，荒木川など

<京北地域水道特別会計 6,000千円>

(上下水道局)

京北地域水道施設の災害復旧 6,000千円

台風による大雨等により被害を受けた鳴滝橋にかかる配水管の流出に関する仮復旧工事を行う。

③ 小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る補償 940,000千円

<一般会計 940,000千円>

(建設局)

小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る補償 940,000千円

小栗栖排水機場が一時運転停止し、周辺に浸水被害が発生したことによって被災された市民への補償金について、仮払も含め速やかに支払を行う（ただし、支払額は、被災者住宅等再建支援補助制度による補助金を受けている場合、これを除く残額とする。）。

支払に議決が必要な50万円以上の事案については、その議決前に「50万円+超過分の2分の1」の仮払を行う（今後、補償交渉等の状況により補正予算額9億4千万円を超える部分については、改めて予算計上していく。）。

なお、補償金額については、全額委託事業者に求償する。

(2) 台風第18号被害を踏まえ、スピード感を持って対応する水害対策の強化

223,000千円

<一般会計 195,000千円>

(行財政局)

防災情報発信機能の強化 44,000千円

繰越明許費(34,000千円)

災害時に迅速かつ正確な情報配信が可能となるよう、防災ポータルサイトの視認性向上やシステム強化を図るとともに、携帯電話を保有していない独り暮らしの災害時要援護者へ避難情報を音声配信するサービス開始に向け、多メディア一斉送信システムの整備・強化を行う。

※ 災害時の防災ポータルサイトへのアクセス集中対策(サーバー増強、回線増強)は特に緊急性が高いため、既定予算で着手済み

(上下水道局)

京北地域水道特別会計繰出金 28,000千円

災害時の迅速な対応が可能となるよう、給水車、ポンプ等の機材を整備するため、京北地域水道施設整備に係る財源を、一般会計から京北地域水道特別会計へ繰り出す。

(建設局)

排水機場に係る機能調査 債務負担行為（26年度25,000千円）

内水排除（地域内の小規模な河川等からの強制排水）の排水機場12施設のうち、小規模施設を除く10施設において、降雨強度条件による想定流量の算定や、想定流量と排水機場の能力の検証など、現状の河川の流量に見合う適切な能力を有しているか機能調査を実施する。

排水機場における集中監視システムの構築 34,000千円

繰越明許費（24,000千円）

小栗栖排水機場周辺への浸水被害を踏まえ、再発防止策の一環として、内水排除の排水機場12施設のうち、小規模施設を除く10施設において、監視カメラによる映像、ポンプ稼働状況、水位情報等を一元的に把握できるシステムを構築するための設計を行う。

小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る被害状況調査等 65,000千円

小栗栖排水機場周辺への浸水被害によって被災された市民への補償額の確定に向け、必要な被害状況調査等を行う。

有栖川右岸流域（梅津地区）浸水対策 債務負担行為（26年度15,000千円）

浸水被害の発生した梅津都市下水路周辺地区において、現地調査及び測量を行い、浸水箇所や原因を把握したうえで、ポンプ排水も含めた抜本的な浸水対策の立案を行う。

水防団水災対策器材整備 6,000千円

より安全な災害現場活動を行うため、河川の氾濫等による浸水深が50cm以上と予測される地域を管轄する水防団（全9団体）に対して、全団員に行き渡るよう、ライフジャケットの追加配備を行う。

(消防局)

消防団水災対策器材整備 18,000千円

より安全な災害現場活動を行うため、河川の氾濫等による浸水深が50cm以上と予測される地域を管轄する消防団（11本部、146分団）に対して、全団員に行き渡るよう、ライフジャケットの追加配備を行う。

<京北地域水道特別会計 28,000千円>

(上下水道局)

京北地域水道施設整備 28,000千円

繰越明許費（26,000千円）

災害時の迅速な対応が可能となるよう、給水車、ポンプ等の機材を整備する。

(一般会計繰入金 28,000千円)

(3) 子育て支援・教育の充実等 838,000千円

<一般会計 453,000千円>

(保健福祉局)

民間保育所整備助成 54,700千円 債務負担行為(26年度110,300千円)

2箇所 + 40人

- ・老朽改築及び定員増…石原保育園(南区)
- ・分園整備…桂東保育園(西京区)

グループ型小規模保育改修等助成(保育所実施型) 2,000千円

開設準備助成 1箇所 (+15人(中京区), みぎわ保育園が実施)

障害福祉施設スプリンクラー整備助成 7,300千円

2箇所

- ・京都マック・にこにこハウス(グループホーム・ケアホーム)(左京区)
- ・モーツァルト七瀬川つつみ(ケアホーム)(伏見区)

(教育委員会)

学校維持修繕 4,000千円

地域の元気臨時交付金(第2次交付分)を活用し,屋上防水工事(高野中学校,修学院中学校),グラウンド整備(八瀬小学校)等を行う。

全体事業費389百万円(H25:4百万円, H26:385百万円)

地域の元気臨時交付金(交付金ベース)の状況 (単位:百万円)

	第1次交付額	第2次交付額	計
H25 追加事業	1,366	4	1,370
H25 内示割対応	199	—	199
H26 予定事業	1,952	385	2,337
合計	3,517	389	3,906

(行財政局)

地域の元気臨時交付金の基金への積立(基金特別会計繰出金) 385,000千円

地域の元気臨時交付金(第2次交付分)の平成26年度活用事業の財源として,公共施設等整備管理基金に積み立てるため,一般会計から基金特別会計へ繰り出す。

<基金特別会計 385,000千円>

(行財政局)

公共施設等整備管理基金への積立 385,000千円

(4) 新観光振興計画策定の前倒しその他 190,000千円

<一般会計 190,000千円>

(産業観光局)

新観光振興計画の策定 8,000千円

債務負担行為(26年度14,000千円)

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に、世界の人々に京都の魅力を発信するとともに、来日される外国人をはじめ観光客の皆様に対する「おもてなし」力を高め、国際観光都市としての質を向上させていくことを目指し、2015年3月までに策定予定であった新観光振興計画を前倒しして、2014年の秋頃に策定する。

(総合企画局)

「関西ワールドマスタースゲームズ2021」準備委員会負担金 1,000千円

「関西ワールドマスタースゲームズ2021」の関西での開催に向けて、準備段階から積極的な広報などを行うため、準備委員会の活動費について参加9府縣市等で負担する。

(選挙管理委員会)

京都府知事選挙及び京都府議会議員北区選挙区補欠選挙 181,000千円

26年4月実施予定の京都府知事選挙及び京都府議会議員北区選挙区補欠選挙について、準備事務及び期日前投票所の運営等を行う。

※ 「選挙のお知らせ」はがきの郵送や期日前投票所運営など、25年度に必要となる経費を計上。26年度に必要となる経費(190,000千円)については、別途26年度当初予算で対応

(5) 一般財源の捻出 379,000千円

<基金特別会計 379,000千円>

(行財政局)

財政調整基金の取崩し 379,000千円

今回の補正に必要な一般財源を確保する。

3 補正予算の規模

(単位：百万円)

会計名	補正前の規模	補正額	補正後の規模
一般会計	741,217	3,343	744,560
京北地域水道特別会計	1,570	34	1,604
基金特別会計	82,630	764	83,394
今回補正しない特別会計	859,012	-	859,012
合計	1,684,429	4,141	1,688,570

4 一般会計補正予算の財源内訳

小栗栖排水機場周辺浸水被害に係る補償 940, 小栗栖排水機場周辺浸水被害状況調査等65, 農林災害復旧事業 1

学校維持修繕(元氣臨時交付金) 389, 土木災害復旧事業 274

京都府知事等選挙 181, 民間保育所整備助成等 53, 農林水産業復旧支援事業 12, 排水機場における集中監視システムの構築 4, 農林災害復旧事業 2

(単位：百万円)

項目	補正額	内 容
特定財源	2,964	国支出金 663, 府支出金 252(うち国交付金56), 市債 1,043, 諸収入 1,006
一般財源	379	財政調整基金 379
合計	3,343	

土木災害復旧事業 926, 防災情報発信機能の強化 44, 排水機場における集中監視システムの構築 30, 道路・河川維持補修 27, 農林災害復旧事業 9, 民間保育所整備助成 7

道路・河川維持補修 197, 農林災害復旧事業 111, 京北地域水道施設整備 28, 消防団水災対策器材整備 18, 新観光振興計画の策定 8, 農林水産業災害復旧支援事業 6, 水防団水災対策器材整備 6, 民間保育所整備助成等 4, 「関西ワールドマスタースゲームズ2021」準備委員会負担金 1

<参考> 財政調整基金の状況

(単位：百万円)

24年度末 残高 (A)	積立見込額 (B)	25 年 度 中						25年度末 残高見込額 (A+B-C)
		取 崩 見 込 額 (C)						
		当初 予算	5月 補正	6月 補正	9月 補正	9月 補正 (追加)	11月 補正	
1,069	(※) 1,872	—	108	170	31	157	379	2,096

※ 24年度決算における実質収支黒字の全額積立て1,865百万円, 運用益7百万円